

第5学年 言語・数理運用科

目標

日常生活に見られる様々な事象について、目的に応じて必要な情報を取り出し、国語・英語、算数等の各教科で身に付け基礎的な知識・技能に関連付けて理解・評価し、自らの考えを適切に表現する力を育成します。

月	単元・題材名	時数	学 習 活 動
年間を通じて	・ 「標識の秘密を探ろう」	5	・ 複数の標識から情報を読み取り、制作者の意図を考え、それをもとに標識を考え表現する。
	・ 「アストラムラインで楽しもう」	6	・ 運賃表、時刻表などの情報を読み取り、見学ルートなどを考え、図や数式を用いて表現する。
	・ 「ザ・広島ブランド」	5	・ 広島市が推奨する「ザ・広島ブランド」のパンフレットを読み取り、カルタなどの短い言葉に表現する。
	・ 「インターネットで検索したら」	5	・ インターネットの疑似サイトからサイト製作者の意図を読み取り、インターネットの使い方をまとめる。
	・ 「お好み焼きの材料を買いに行こう」	5	・ 広告から情報を読み取ったり、制作者の意図を考えたりして、材料を買う計算を行う。
	・ 「未来の給食を考えよう」	4	・ 給食に関する年表をもとに、年代ごとの特色ある献立を並び替えることを通して給食について考え、給食の本に表現する。
	・ 「広島の路面電車」	5	・ 写真やグラフなどの資料から情報を取り出し、路面電車が再評価されている理由を考え、表現する。
合 計 授 業 時 数		3 5 時 間	

言語・数理運用科の評価

観点	学年目標	評価方法
情報を取り出す力 思考・判断する力 表現する力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語や数学的な表現などを用いて表現された様々なテキストを読んだり、数理的に処理したりして理解し、目的に応じて必要な情報を取り出すことができるようにする。 ・ 取り出した情報を各教科で身に付けた知識や経験と関係付けながら、筋道を立てて考え、判断することができるようにする。 ・ 自らの考えや意見をまとめ、言語や数学的な表現などを用いて、目的や相手に応じて、理由を示し、筋道を立てて表現することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習カード ・ コンピューター操作 ・ ワークシート ・ 作品 ・ 発言 ・ 取組の様子 など総合的に評価します。